

ねじりはちまき

暑中お見舞い申し上げます。

7月 文月<sup>ふみつき</sup> 小暑 大暑の月になりました。

7月 1日、山開き 7日、小暑 17日、海の日 20日、土用 23日、大暑  
30日、土用の丑の日です。

江戸時代の庶民にとって富士山は信仰の対象であると同時に容易に行けない聖地でした。そこで江戸市中の各地に勧請<sup>かんじょう</sup>(神仏を分霊して祀ること)された浅間神社に参拝し、富士塚と呼ばれる小さな人工富士に登ると実際に富士詣と同じ霊験が得られるとされていたようです。この富士詣は浅草の浅間神社駒込の富士神社が有名です。今も賑わっているようです。土用の丑の日は30日になっています。健康保持のためにウナギを食べましょう。

幸田 常一

\*\*\*\*\*

<会社近況>

本格的に暑くなってきましたね。雨の日でも気温や湿度が高く、過ごしやすい日が多いわけではないですが、なんとか乗り切りたいものです。  
ただいま、本宮市、郡山市の建設工事をお世話になっております。

【木の知識シリーズ】  <スギ>

私たちにはとても身近な『木』の存在ですが、改めて木の魅力を考えてみたいと思います。特に建設業ではたくさんの木の種類を扱うことがありますが、建築物から、家具まで生活のあらゆる場面で使われています。

スギは常緑針葉樹であり、建材にも多く使われている種類です。<sup>1</sup>  
シロアリや腐朽菌にも強い品種です。日本で一番割合の多い品種です。スギは、まっすぐ幹が伸びますので、加工しやすい木でもあります。これからはスギ花粉の飛散が少ない杉の品種が植えられるところもあるそうです。

\*\*\*\*\*

7月 ピーマン<旬>

1年中スーパーなどで見かけるピーマンですが、今が旬です。トウガラシの一種で辛みはなく、ビタミンCやカロテン等の栄養素が多く含まれているそうです。苦みが特徴のお野菜ですが、繊維に沿ってたて切りにすると、苦みが抑えられて食べやすくなりますね。種にも栄養があるみたいなので、種ごと調理して食べても美味しいそうです。ぜひ、お試し下さい。



\*\*\*\*\*

令和5年7月5日発行

<発行責任者>幸田久美

有限会社 幸田建設

969-1204 本宮市糠沢字八幡 1-1

電話 0243-44-3816

<後記> 最近、ニュースで線状降水

帯というワードを耳にします。大雨

がバケツをひっくり返したように降り

災害の恐れがあるので注意して聞きた

い言葉ですね。 (ほしの)



人口問題について

今回は少子化対策が急務とされている人口問題について取り上げたい。日本は人口減少期に入っている。出生率が下がっているのだ。県内でも高校の統廃合がされている。小学校の廃校も報道される。労働力不足も取り沙汰されている。これからの日本の人口はどうなっていくのか。減少するにしてもそのスピードがどんな具合か。人口問題は社会・経済などいろんな分野に関係してくる。この際、いろいろ調べて理解を深めたいと思う。

まず、日本の人口の推移をみてみよう。どこまで遡れるのか。今のように国勢調査がなされていないのだから推測はやむを得ないが、そういう推定値としての人口数は遡れる。ではどんな数字なのだろうか。人口の推移については学者によって推定値が異なるが、1千万を超える時期としては、15世紀~16世紀(室町・安土桃山時代)のようだ。江戸期に入って社会が安定して江戸前半で3千万を超えるようになり、明治時代末頃に5千万を超え、先の大戦で大量の戦死者を出したものの、戦後のベビーブームを経て、昭和45年(1970年)には1億を超えるに至る。そして、平成20年(2008年)には1億2808万人となり、ピークを迎えた。そして、それ以降減少期に入る。最新の人口は、1億2494万人であり、12年連続で減少している。それでは、将来の日本の人口はどうなるのだろうか。国の人口問題研究所が2020年の国勢調査に基づいて50年後の2070年人口を推計したところ、何と8700万人になるという数字が出ている(1億人を割るのは2052年頃)。65歳以上の人口は約4割を占めるようになる(現在は28.6%)。そして、将来人口では外国人が現在より相当増えることが見込まれている。

では、なぜ人口は減少に転じているのだろうか。しかも減少のスピードが速いという。その要因は少子化である。年々生まれる子どもの数、即ち出生数が減っているのだ。それを数字でみてみよう。戦後の第一次ベビーブームの昭和24年(1949年)は269万人であった。それと第二次ベビーブームの昭和48年(1973年)は209万人で、これ以降は減少する一方である。150万人を割るのが昭和59年(1984年)で148万人、そして100万人を割るのが平成28年(2016年)で97万人である。直近(2021年)では、81万人までになっている。これほどまでに急速に減少しているのか、知りたい。

経年する中で、子どもを生める女性人口が減っている一方、未婚の人が増え、結婚しても、結婚年齢が上昇したり、生む子どもの数が少なかったりことが要因として考えられる。未婚の人、シングルが増えているのはどうしてだろうか。その前に、50歳未満の未婚の割合(人口に対する)の推移をみてみよう(人口問題研究所のデータ)。1970年では、男性が1.7%、女性が3.3%で、これが1990年ごろまで横ばいで推移する。それ以降上昇を続け、2010年(平成22年)には男性20.1%、女性10.6%となり、2015年(平成27年)には男性23.4%、女性14.1%となっている。男性の方が多い状況になっている。これら未婚の人たちの意識はどうか、ある調査の結果をみてみよう。

<結婚を選ばないパターン>①結婚に魅力を感じない ②趣味や仕事が楽しい  
<結婚を選びたいが選べないパターン>①経済的に難しい ②将来への不安を感じている  
③結婚相手に巡り合わない

この二つのパターンの内どちらの方が多いかは残念ながら分からない。前者の方は手の施しようがないが、後者の方は支援策を講じることで結婚に結び付けることが可能になるかもしれない。子どもを生む・育てる経済的不安に対しては我々の世代にはなかった各種手当が講じられているし、政府の少子化対策はさらに手厚い施策を準備しているようである。また、結婚相手に巡り合わない人のためには、婚活と称して出会いの場が設けられたり、交際相手を紹介する相談の場がある。昔は熱心な"仲人"役の人がいたものだが。今はどうだろうか。自分も仲人を幾組か務めたが、いずれも"頼まれ仲人"であった。



さて、話を戻そう。少子化の一方、高齢化が進んでいる訳だが、平均寿命の推移はどうなっているのだろうか。先ず、1950年では男が58.0歳、女が61.5歳だったが、20年後の1970年には男が69.31歳、女が74.66歳となり、その20年後の1990年には男が75.12歳、女が81.90歳となる。直近の2020年では男が80.93歳、女が87.65歳となり、将来の2050年には男が83.55歳、女が90.29歳になると予測されている。女性は平均で90歳を超えて生きる時代になる。

問題点ばかり探っていくと暗くなってしまうが、この機会に少し我慢して人口減少、即ち少子化・高齢化による課題に目を向けてみたい。人口ピラミッドの変化をみると、一目瞭然である。人口が増えている時は、若い世代の人口が増えているから、ピラミッドの形は裾野が広がる富士山のような形を成すが、若い世代の人口が減って平均寿命が延びて高齢化が進むとピラミッドの形は釣鐘のような下ツボミになる。つまり、若い世代が高齢者世代を支える社会システムは維持できなくなってしまうのだ。それが大きな課題である。例えば、年金や医療保険においては既に制度の見直しがなされている。年金では支給開始年齢の引き上げ、医療保険では高齢者の医療費負担の引き上げなどである。少子化がこのまま進み、人生100年時代となると70から75歳まで働くようになるのかも知れない。そして労働力が不足する中で、AI化が一層進むと同時に外国人労働者が増えていくと見込まれる。身近な農林水産業の担い手なんかどうなっていくのかということのも心配である。

人口が減少化する中で、国内では都市部には人口が集中し、それ以外は減少が著しい。都市部以外は相変わらず都市部に流出し(社会減)、自然減(生まれる数より死ぬ数が多い)が加わり、減少が加速するのだ。「限界集落」という言葉を耳にしたことがあるだろうか。テレビ番組でも取り上げていたかと思う。過疎化が進み、人口の50%以上が65歳以上で占め、共同生活の維持が困難になっている集落を限界集落という。そういう集落が全国的に増大しているのである。この状況が更に進展すれば国土の荒廃にも繋がる問題である。

考えてみれば、世界的には人口は増大し続けているのだ。急速に増えることも資源の面で心配な点があるが、減ることもそのスピードが緩やかであって欲しい。そのためには、日本においては少子化対策が不可欠であり、急務である。政府は異次元の少子化対策を打ち出そうとしており、この4月から「こども家庭庁」が設置された。結婚・出産・子育てに関する各種手当が拡充され、相談機能や保育環境などが拡充されていくものと思われる。安心して子どもを生み、育てる環境が整備されるとしても、そのことによって結婚しようとする人がどれだけ増えるのか、結婚して子供を生もうとする人がどれだけ増えるのか。若い世代の意識が変化をみせてくれればいいのだが、どうだろうか。皆さんはどう思いますか。これには、人の価値観というか、幸せ観が絡んでいると思われる。つまり、結婚して子どもがいる家庭をもつことが幸せだという「幸せ観」をもっているかどうかである。その人が育った家庭環境、即ち親の夫婦関係や親子の関係が大きく影響すると小生は思ってしまうがどうだろうか。育った家庭環境に「幸せのモデル」を見出している人はその実現に自然に心が向くと思うのだが。どうか結婚して、子どものいる家庭をもって幸せになっていただければと祈るばかりである。今回はこれで終わりとする。



## 梅雨の晴れ間の長野県2山 鉢盛山、有明山

(百：日本百名山、◎：日本二百名山、○：日本三百名山。カッコ内の数字は標高)

### 【今回登った山】

**鉢盛山** (○、はちもりやま、2447m、長野県木祖村、朝日村、松本市(旧波田町・奈川村)境、分水嶺の山)

**有明山** (◎、ありあけやま、2268m、長野県安曇野市、松川村境、信濃富士、安曇富士とも呼ばれる信仰の山)

### 【日程概要】

6月17日(土) 移動(本宮IC～塩尻北IC)、朝日村にて林道通行ゲートカギ借用、車中泊。

18日(日) 鉢盛山登山。移動、中房温泉車中泊。

19日(月) 有明山登山。移動、帰宅(安曇野IC～本宮IC)。

### 6月17日(土)

予定通り10時前、自宅発。

本宮ICから東北道、北関東道、関越道、上信越道、長野道を乗り継ぎ、塩尻北IC14:45着390km。まずは燃料補給、1L、172円だった。コンビニで買い物し、林道ゲートの鍵借用のため観光協会に寄る。数日前ネットで申請して許可を得ていた。林道は当日17日から通行可能になったとのことで、自分は翌日18日今期2日目の入山者ということになる。



朝日村は高原野菜の産地のようだ。(写真左)。鉢盛山は雲の下に見えている丸く大きくどっしりした山容の山。



観光協会は村のマルチメディアセンター(図書館)(写真次頁上左)内にあり、丁度中年男性の下山者・鍵返却者がいて親切な女性担当者Oさんと話していた。山頂の樹木が伸びてきて眺望がいまいちだったこと、虫が多くて口に入ってきた

などと話していた。林道整備の協力金として千円を箱に投入していた。

ゲートと車中泊する場所の確認のため車を走らせる。ゲートは観光協会から数キロ先にあった(写真次頁上右)。



車中泊の場所は村の西手のしだいに標高が高くなっている村管理の舟ヶ沢



ウオーターパークにした (写真左下)。きれいなトイレがある。Oさんに教えてもらった鉱泉間登男之湯 (まとおのゆ) で汗をながす。村役場まで戻り敷地の端にあったコンビニ

で求めた冷えた缶ビールを飲みながら食事し早めに就寝する

## 18日 (日)

4時過ぎ、東の空が朱く明るくなってくる。天候は心配ないようだ。簡単に食事を済ませウオーターパークを出発し。ゲートを開けて6時前ゲート発。荒れた林道が大変だったなどとブログに書いてあったが、自分としては時速15km以下のゆっくりしたスピードで進んだので苦にはならなかった。もっと酷い林道はほかにもたくさん経験している。

先行の車が少し広くなったところに車を寄せて停車していたので、自分が先に行く。松本ナンバー、地元の人に先行してもらいたいが仕方がない。

猿が数匹道路に出ていた。47分かかって登山口駐車場に着く。岳沢入尾根登山口一番乗り。きちんと止めれば15台位停められる広さだ。

準備していると追い越してきた車が到着し、若い男女のグループがまず出発した。出発間際に松本ナンバーの車が着き、立ち話をする。見たところ自分より少し年上の熟年男子二人組だった。

駐車場から少し戻ったところの登山口7:10出発。(写真：案内板次頁、登山口次頁下左)

短いジグザグの急坂が続く。朝日村担当者の話だと、5月31日に登山道点検のため関係者が登って、点検整備したようで、その結果入山開始日＝林道ゲート鍵貸与日(6月17日)を決めたとのこと。登山道の歩行部分のササは刈払われていたが、その後に育ったササはまだ葉が1～2枚しか開いていなかったが白い粉がスラックスや袖に付着する。葉が開くと邪魔になるなと思った。





殆どが樹林帯の中で、所どころ視界があるところでは下界が見渡せる。  
 村界尾根に登って、比較的平坦な尾根道を10分くらい進んだ旧道との分岐に8:35着。

【山頂へ1.6 km 約60分 ガンバツテ】の横長の標識があり、休憩する。少し進んだところに丸太を半分に割って作ったベンチが3つあり近くの木にスコップとツルハシが掛けてあり、下にあったボックスにはハンマーや土嚢袋などのほか、ペットボトルの水が収納されていた。(写真上右)

【鉢盛坂新道】の両側には白くかわいいオサバグサが群生していた(写真次頁上)。オサバグサとの出会いは本県南会津の帝釈山(◎2060m)以来だ。坂を登ったところに避難小屋があった(写真次頁中左)。





先行の二人が下山してきたが、虫がいっぱいいて長居できないと言っていた。

9:45 山頂着。2 時間半の道のりだった。日本三百名山、標高 2447m の鉢盛山登頂にしては物足りない、肩透かしを食った感じだ。

山頂には方位盤のほか 4 つの社があった。4 町村の人達が担ぎ上げたのだろう (写真下右)。かつては雨乞いの山だったとのこと。(日本海と太平洋にそそぐ分水嶺。)



山頂の周りは樹木に囲まれて風通しも眺望もなく、確かに虫が多かった。体にまとわりつき口を開けた隙に入りこんだりする。昨日観光協会で鍵を借りるとき下山者がこぼしていたので自分は虫よけスプレ



レーを忘れないで持ってきていた。スプレーしてもうるさいが我慢する。

少し先に大きな電波塔がある笹原のところに行く (写真下)。風通しが良いので虫が少ないがすぐに寄ってくる。スプレーして我慢。



北東方向にまだら雪模様の槍・穂高連峰や常念岳、焼岳、笠ヶ岳などなど・・・が群を抜く高さで連なっている (写真ズーム次頁) 山岳写真で紹介されている景観と角度が異なり凝縮されている感じだ。



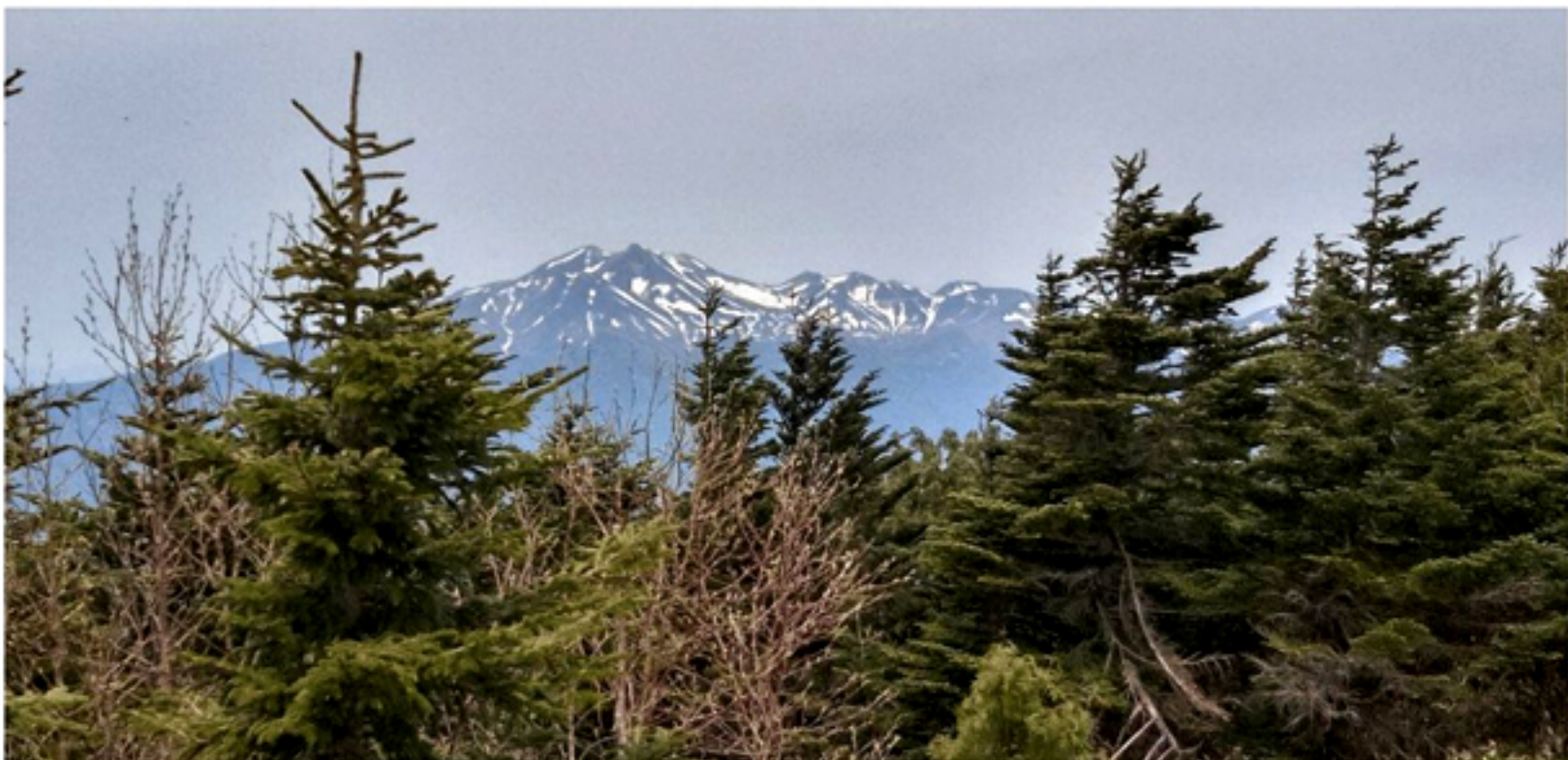


(中央奥が奥穂高岳 (百 3190m) 右奥の黒っぼいとんがりが槍ヶ岳 (百 3180m) 二つの間の手前に前穂高岳 (3090m))

熟年男性二人が到着し写真を撮って貰う。(写真下左)



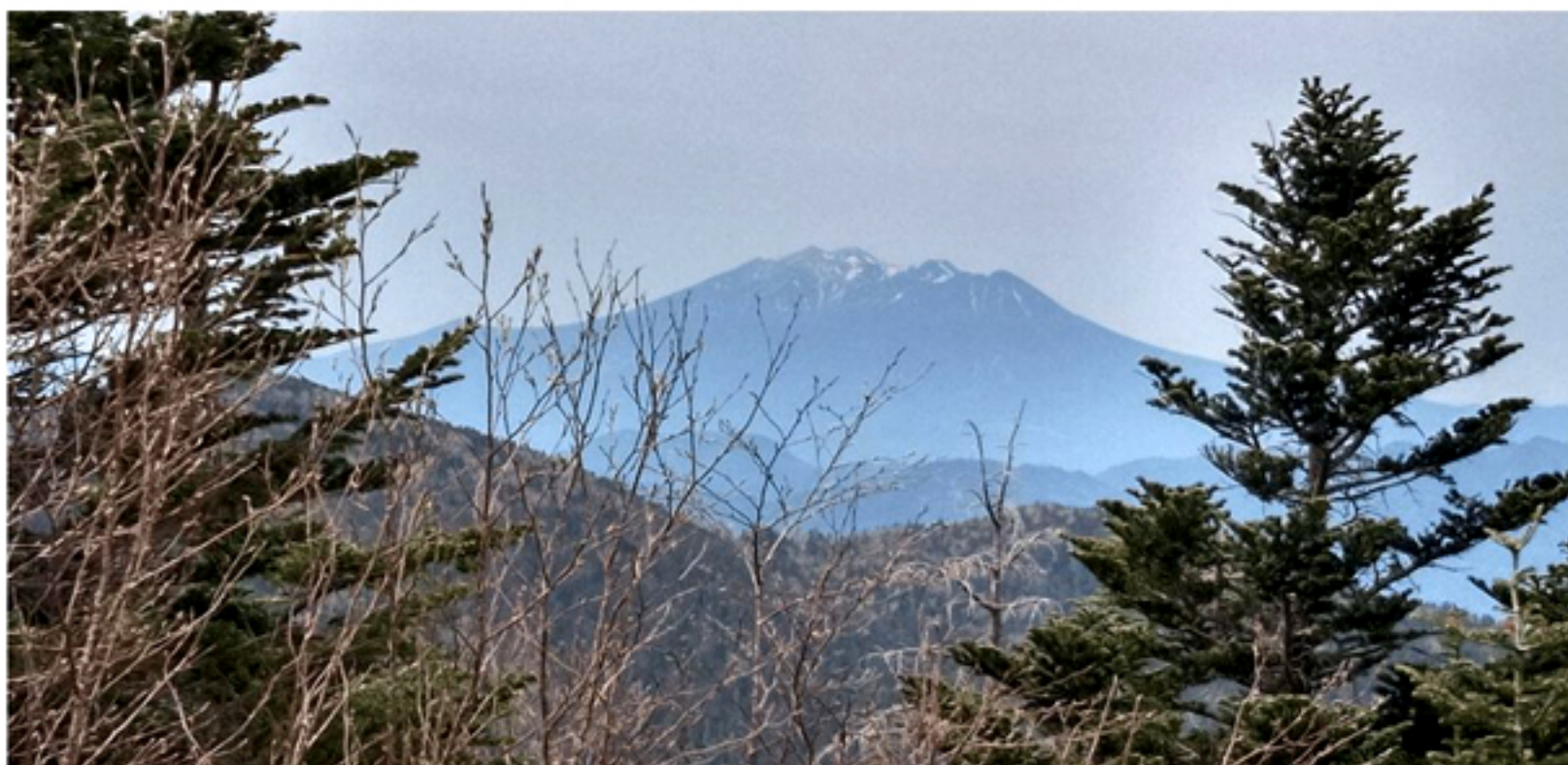
西には乗鞍岳 (百 3026m) (写真下)



がさらに南西方向に御嶽山 (百 3067m) (写真次頁) が鎮座していて大きく見える。この景観を目の当たりにして、邪魔な虫や樹木を差し引いても鉢盛山山行は



素晴らしい。



熟年男性二人に年齢を問われ応えたら自分たちの方が年上だと誇らしげに話された。あとひと月で78歳になる方と74歳の方だった。74歳の方は2年前に300名山を達成されたとのこと。77歳の方は1998年長野冬季オリンピックのスケートの競技役員だった人で福島市に大会当時の友人がいるとのことだった。

自分がこれから登ろうとする北海道の山についていろんなことをお二人から聞いて参考になった。1時間半も長居してしまった。

11:25 一足先に下山開始。途中見晴らしのよい所で休んでいると二人が後着し、かすんでいる山々を教えてもらった。八ヶ岳連峰、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、美ヶ原……

大いに満足した。さらに下る途中、熟年女性が単独で登ってきた。13時駐車場着。山梨ナンバーの車があった。

下りは休憩も入れて1時間半だった。長い休憩を含んで6時間弱の山行で、最近の山行としては短時間の山だった。朝日村の人達たちの鉢盛山に対する愛着を感じ取れた山行だった。

14時過ぎ観光協会に若干の協力金とともにゲートの鍵を返却し、次の目的地、有明山登山口の中房温泉に向け出発する。

距離はナビで50km弱と表示されるが、北アルプス山塊を左に見ながら麓を北上する一般道路で結構時間を要した。安曇野市に入ってから中房温泉までは急な狭い道だった。

かつて20年以上前に先輩夫妻と妻の4人で、中房温泉から燕岳(◎2763m)、大天井岳(◎2922m)、常念岳(百2857m)、蝶ヶ岳(2677m)～三股まで2泊で縦走したときはバスで中房温泉登山口に向かったが、今回自分で運転してあらためて狭い急坂の道だったことを認識した。途中コンビニがないことに気づき30分もコ



コンビニのあるところまで下った。途中から見た有明山は立派で、信仰の山であることに納得いく山容をしていた（写真下）。



17時前、中房温泉入口着。道路の高い所に【11:00 現在 第1、第2 駐車場満杯、第3 駐車場\_\_\_\_】と表示されていた。燕岳方面に近い駐車場は満杯で、一番遠い第3 駐車場は空きがあることを示していた。有明山の登山口は有明荘裏

の第3 駐車場にある。

奥の登山口に近い所に車を止め、登山届を書きボックスに入れる。湯を沸かし、サトウのご飯と 400g のレトルトカレーとを湯煎し、食事し、早めに就寝する。

樹林に囲まれた駐車场上空の開けた空には幾多の星が大きく瞬いていた。中房温泉登山口は標高 1373m。

## 19日（月）

4時過ぎ起床。簡単に食事を済ませ6:00 登山口出発（写真下左）。



ハシゴの急坂（写真左）を登り腰高のササに囲まれた道を行くと第2 駐車場からの道と合流する。直登気味のジグープや鎖の付い真下）。



しだいに傾斜を増しザグの道となる。ロた横歩きもある（写





ショウジョバカマが咲いていた（写真左）。



ハイカラな髭を生やした中年の下山者がいたが、2時に登り始めたとのこと。おそらく日の出の写真撮影が目的か。

さらに上部の急坂の途中で熟年ペアが下山途中で休んでいた。4時に登り始めたとのこと。石柱を示し、「ここは6合目、8号目まで行くと傾斜が楽になるよ」と教えてくれた。自分としてはここは8合目くらいかと期待したがグサッと裏切られた。

11:18 ステンレス製の鳥居のある有明山北岳（2268m）着（写真下）。

避雷針を兼ねているらしいが違和感がある。

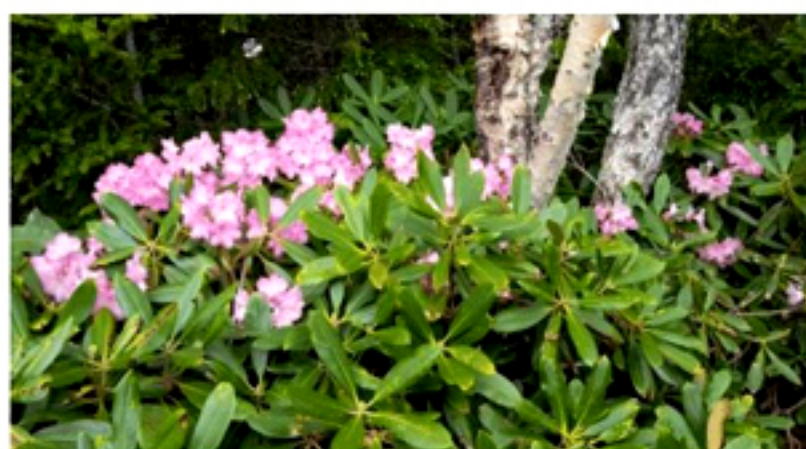


5時間以上かかった。ガイドブックのコースタイムより1時間以上オーバーしている。

山頂部はガスで覆われていて眺望はまったくなし。燕岳から常念岳に至る景観を楽しみにしてきただけに残念だ。

せっかくここまで登ったので、北岳からヤブ気味の尾根に作られた道の中岳、奥宮の南岳（2248m）に行ってみる。片道30分弱。山頂部にはシャクナゲが咲いていて癒される（写真右）。

北岳（写真下左）、中岳（写真下右）、南岳（写真次頁）に立つお宮。南岳で休憩しパンをかじる。休憩を含め往復1時間。【有明八面六神】の石碑が立てかけてあった。（写真次頁右）



鳥居のある北岳に戻ると若者がお弁当を食べていた。長野県内の20歳台の若者で百名山はまだ30山位とのこと。若者の祖父は75歳だけれど足腰が悪くて山歩きなどしないとのこと。元気ですねと褒められた。なぜ燕岳でなくて有明山に登ったのですかなどと聞かれた。







た。

15:15 中房温泉第3駐車場・登山口  
時間15分しかかからなかった。登りの急坂が多いことが分かる。山頂部でのまでの往復と休憩を含めて約9時間の終える。

有明山は眺望のない樹林帯の中のほ坂で、燕岳方面と比べて極端に登山者も頷ける。三百名山を目指す人以外はうとする人は少ないのではないか。特に今回は上部がガスで覆われていて全く眺望がなかったので余計にそんなことを考えてしまう。



13時若者より早く下山開始。1時間ほど下ったところで追いつかれ

着。下りは2半分以下、奥宮（南岳）山行を無事

とんどが急が少ないの好んで登ろ

準備を整え、16時駐車場発。長野道安曇野IC 17:08、上信越道、関越道、北関東道、東北道と乗り継ぎ 21:30 自宅着。マイカー一人旅、912 kmの山旅を無事終える。

日本三百名山残り18山、頑張りたい。

令和5年6月 NO117 アンチ・エイジング 山旅遊人